

「感謝ということば」

スイッチON！！すっかり秋晴れの青春を思い出す風が吹いてきました。不思議とワクワクと哀愁が寄せてくる季節です。歳を重ねると季節の風で、ふとした思い出が心の琴線に触れます。人生の密度を感じますね。

さて、池間先生という海外ボランティアの代表の講演会に参加しての質問です。
『あなたの夢はなんですか？』

ある貧しい国で、この質問を10歳の子供にしたそうです。
10歳の子供でも毎日働かなくてはならないような国です。
その子から返ってきた言葉は、『20歳になるまで生きること！』
笑顔でそう答えたそうです。私は初めてこれを聞いたとき、衝撃的に泣きました。
自分が恥ずかしくなりました。そして、そんな国もあるなら、その子たちに恥じない大きな夢を持つ。
いつでも幸せを感じているようにしようと思いました。
あたり前のように大人になれる、この平和な国に生まれたことだけでも、とても幸福だとそう想いました。

親父と母親の子供に生まれて感謝ができます。
ご先祖さまに感謝ができます。
家族に支えられ感謝ができます。
仲間と出逢い、同じ道を歩めることに感謝ができます。
いま自分が生きてることに感謝ができます。

この世界には、今日のメシを食べない人がいる。
この世界には、明日を生きれない人もいる。
そう考えたら、生きてるだけで幸せ。メシを食べたら超幸せ。酒など飲めたらめっちゃくちゃ幸せ。
生きてることに心から感謝。
メシを食べることに心から感謝。
酒を飲めることに心から感謝。
家族がそばにいることに心から感謝。
共に想い走りぬける仲間がいることに心から感謝。

たくさん大切なもの。
それを心の芯から大切に、いまを一生懸命生きているあなた自身に何よりも感謝をしてみましょう。

『感謝』という2文字には、たくさん“濃縮”された想いがつまっています。
刺激を受けたときに気づく言葉ですが、頭の脳みそではなく、心の脳みそからぜひ通して世界を見てみてください。

